



ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社 会社説明資料

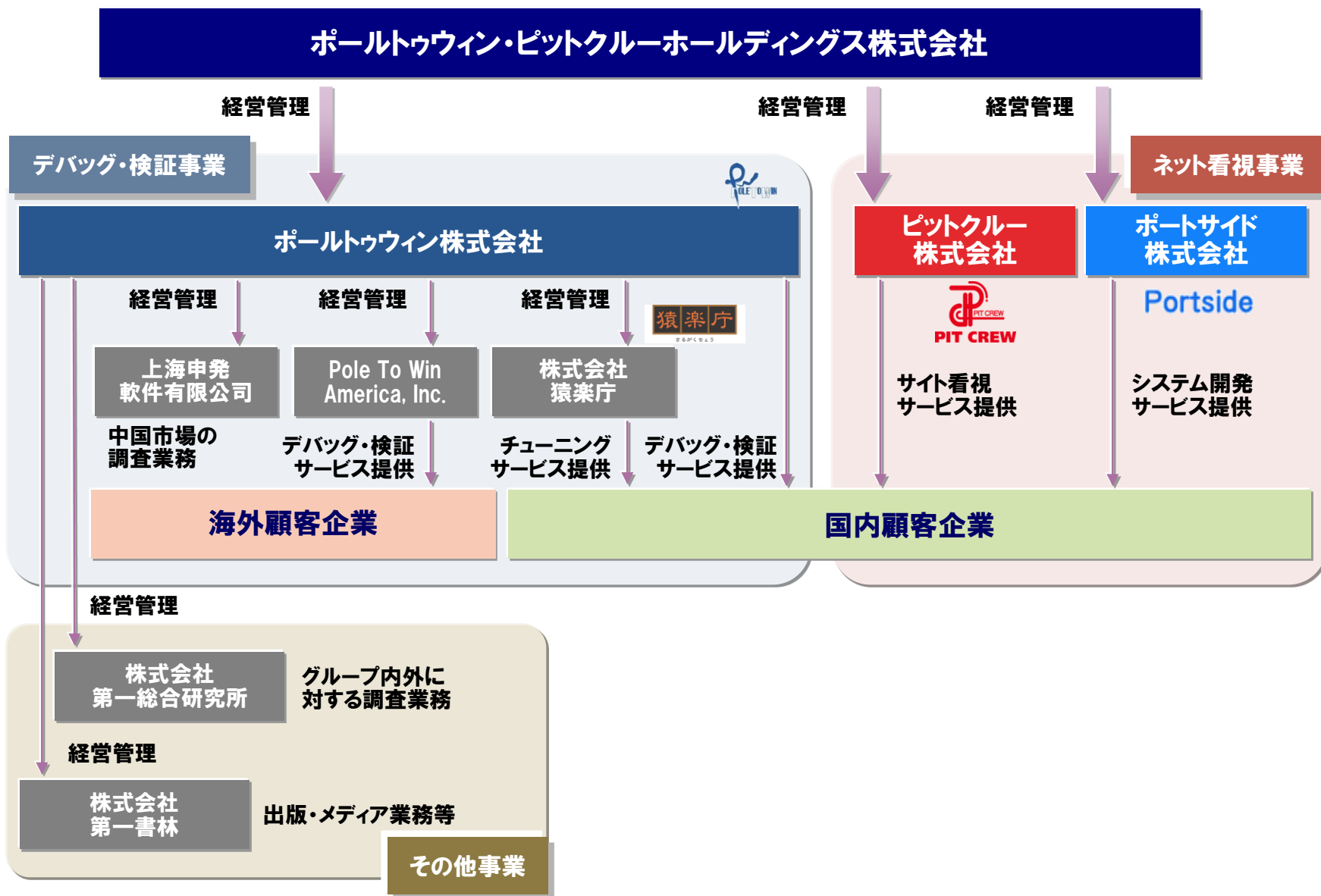
証券コード:3657

2011年10月

会社概要

会社名	ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社
代表者	代表取締役会長 橘 民義 代表取締役社長 小西 直人
本社所在地	東京都千代田区岩本町2-4-1
設立	2009年2月2日
資本金	7億1,240万円(2011年10月26日現在)
事業内容	当社及び連結子会社8社で構成されるグループ全体の事業活動の支配・管理及びこれに付帯または関連する業務。 【当社グループの主な事業】 1.デバッグ・検証事業 ソフトウェア・ハードウェアの品質向上のサポートをするため、不具合の検出を行う事業 2.ネット看視事業 インターネットサイトの健全運営をサポートするために、違法有害情報や不正の検出を行う事業 3.その他事業 市場調査、出版・メディアに関する事業
連結業績 (2011/1期)	売上高 : 68億6,560万円 経常利益 : 7億6,935万円 当期純利益: 3億8,170万円

グループの構成



- 1. 実績と3ヵ年数値計画**
- 2. 事業内容・事業環境**
- 3. 今後の事業戦略**

実績と3ヵ年数値計画

実績と3ヵ年計画

(単位: 百万円)

	2011/1期		2012/1期			2013/1期			2014/1期		
	実績	構成比	予想	構成比	前年比	計画	構成比	前年比	計画	構成比	前年比
売上高	6,865	100.0%	7,733	100.0%	112.6%	8,440	100.0%	109.1%	9,258	100.0%	109.7%
営業利益	770	11.2%	998	12.9%	129.5%	1,172	13.9%	117.5%	1,432	15.5%	122.1%
経常利益	769	11.2%	996	12.9%	129.5%	1,187	14.1%	119.2%	1,447	15.6%	121.8%
税後利益	381	5.6%	541	7.0%	141.8%	695	8.2%	128.6%	862	9.3%	123.9%

■ 2012/1期の業況は、以下のとおり、予想数値達成に向けて堅調に推移

- デバッグ・検証事業はアミューズメント関連機器、ソーシャルアプリ案件の受注拡大。
- ネット看視事業は、ソーシャルアプリのユーザーサポート拡大。またこれら大型受注に備えて増床等の支出が先行したが、第3四半期以降のサービス開始に伴い業績の底上げ要因に。官公庁入札案件も受注。
- 特にソーシャルアプリに対するデバッグ、ユーザーサポートのワンストップフルサポート提供による事業間シナジーにより受注が拡大傾向。
- 米国現地法人Pole To Win America, Inc.が北米市場において、取引社数52社まで拡大

■ 2012/1期以降は、デバッグ・検証事業、ネット看視事業とも、スマートフォン、ソーシャルアプリの拡大に牽引され、好調に推移するものと予測。また、北米の事業基盤が確立していくとともに、欧州での受注が開始される見込み。

事業内容・事業環境

■ デバッグサービス

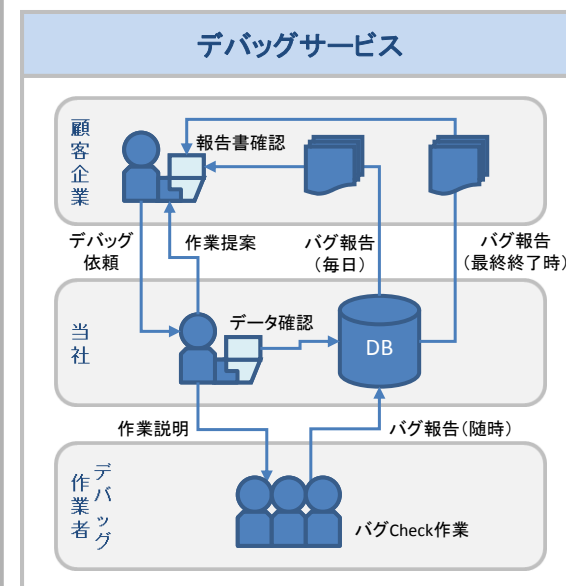
コンシューマゲーム、モバイルコンテンツ、PCソフト、アミューズメント機器(パチンコ・パチスロ)等の不具合検出および難易度チューニング。

■ 検証サービス

開発中のIT家電、携帯電話、車載情報機器等の不具合検出や動作確認

■ 翻訳サービス

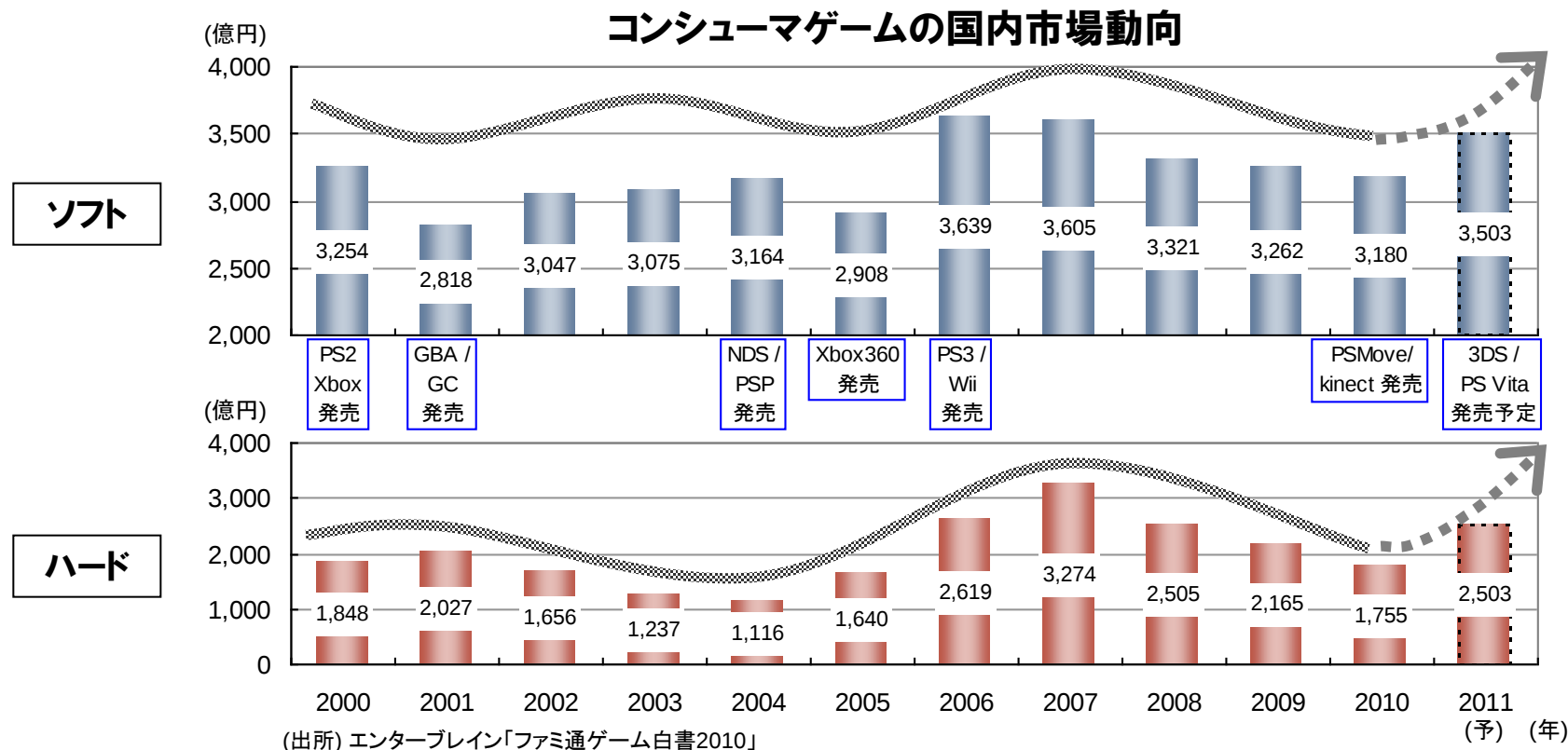
海外向けゲーム・ソフトのゲーム内テキスト、取扱説明書、Webサイト、企画書等の翻訳(EFIGS)
(製品のローカライズプロセスを熟知した翻訳者による対応)



- コンシューマゲーム市場は今後拡大サイクルに
- ゲームソフトのオンライン化拡大とソーシャルゲーム市場の勃興
- 家電の高度IT化がデバッグ、動作検証のアウトソーシング・ニーズを高める

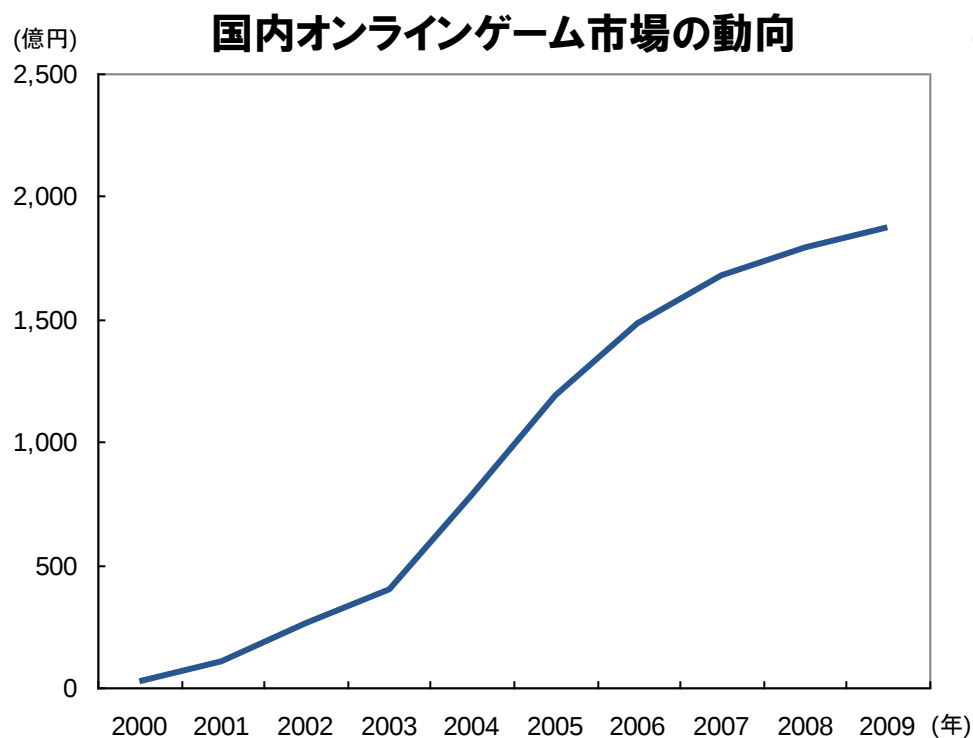
デバッグ・検証事業の事業環境(1)

■ 周期的なコンシューマゲーム市場 ⇒ 今後拡大サイクルへ
…ハードウェア普及とソフトウェア売上には強い相関、
現在ハードは5年サイクルでみた底打ち局面

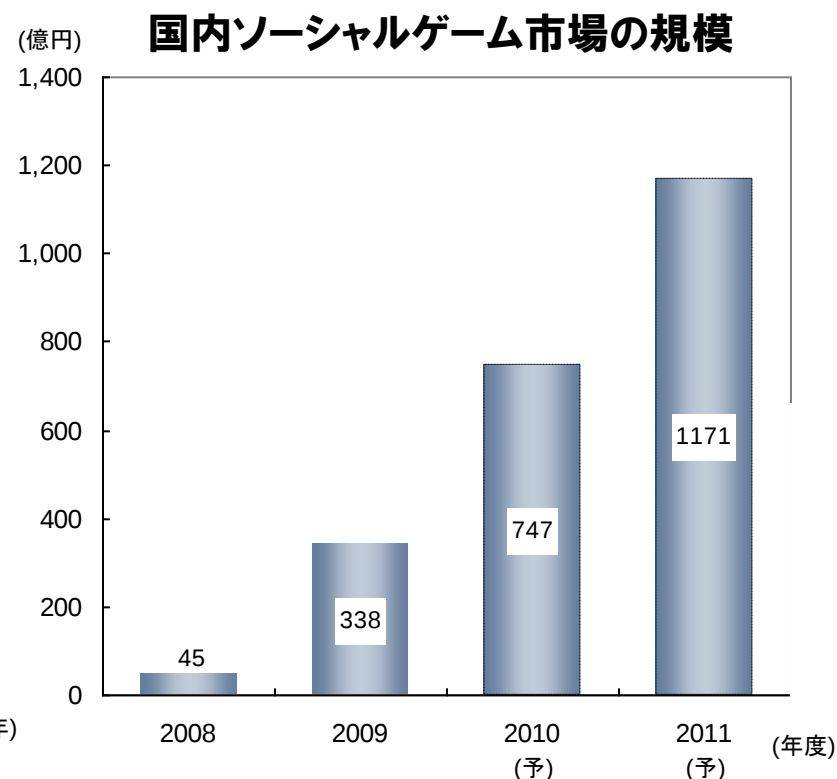


デバッグ・検証事業の事業環境(2)

■ ゲームソフトのオンライン展開の拡大と、 ソーシャルゲーム市場の勃興



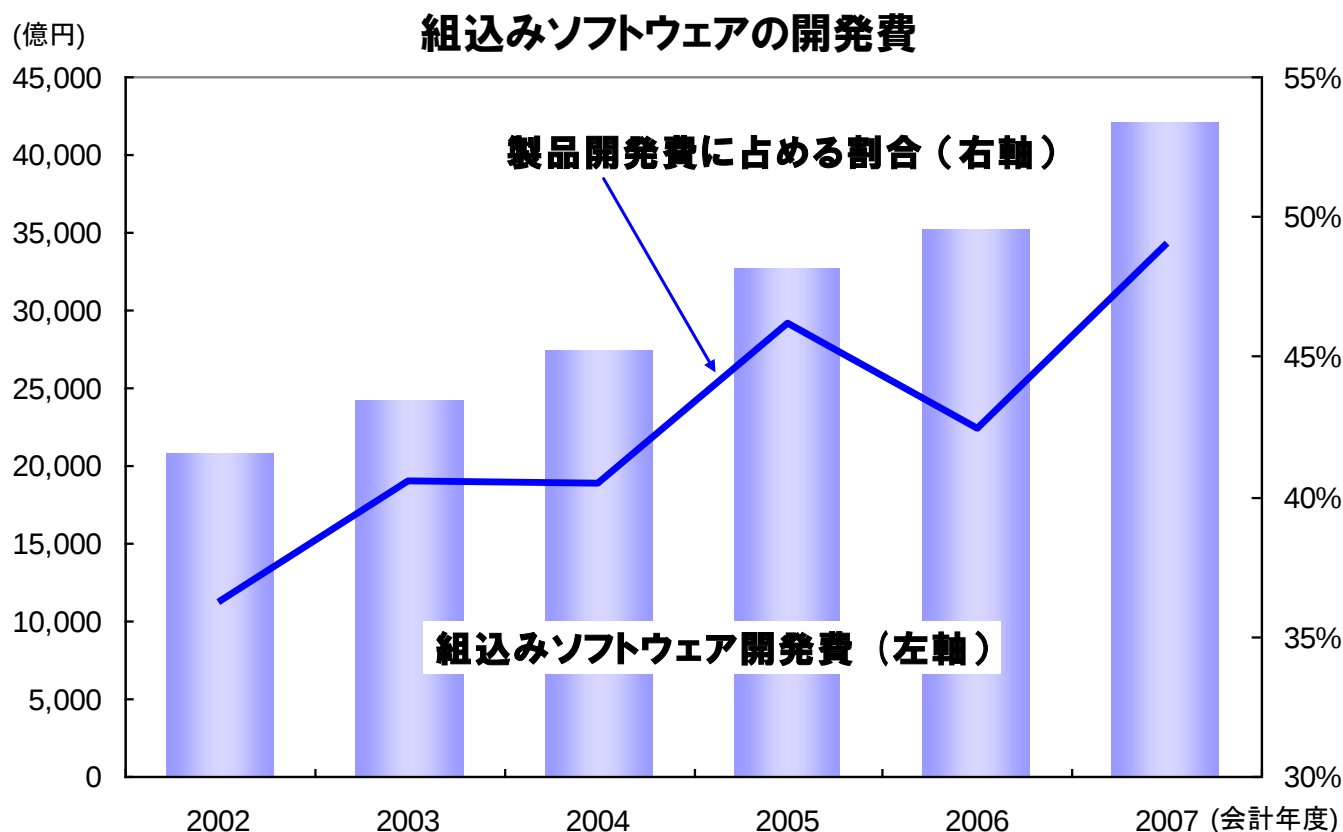
(注) アクセス元はPCだけでなく、携帯電話も含む。直近は2009年。
なお、上記オンラインゲーム市場に右グラフのソーシャルゲーム市場は含まない。
(出所) 電通総研「情報メディア白書2011」



(注) 日本国内のユーザーがソーシャルゲームの利用対価として支払った金額の合計。広告収入は含まず。予測は矢野経済研究所。
(出所) 矢野経済研究所

デバッグ・検証事業の事業環境(3)

■ IT家電等…ソフトウェアの高度・複雑化で開発費比率も上昇
⇒ デバッグ・動作検証のアウトソーシングニーズの高まり



(出所) 経済産業省「組込みソフトウェア産業実態調査報告書2009年版」

ネット看視事業

■ ネット看視*サービス

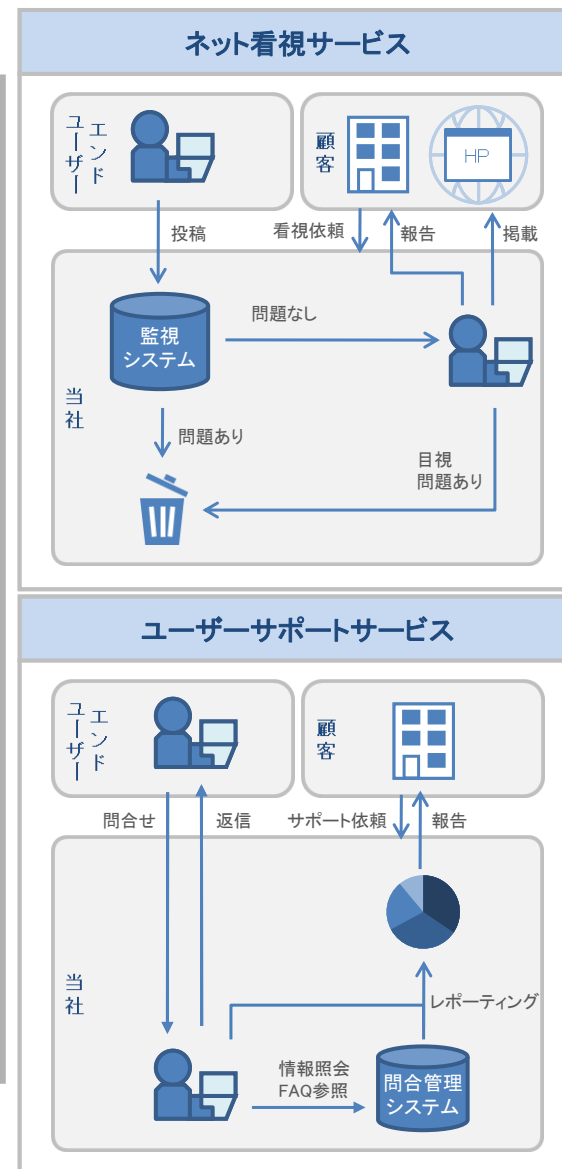
Eコマースにおける不正情報や、顧客企業が運営するインターネット上の掲示板・ブログ・SNS等に投稿されるテキスト、画像、動画等のチェックをシステムと有人を組み合わせる実施。

派生業務：a. スクールネットパトロールサービス
b. 広告審査サービス
c. Web巡回サービス
d. サーバー看視サービス

■ ユーザーサポートサービス

ゲームソフト／ハードやソーシャルアプリ利用者等からの電話・メール問い合わせに返信等の対応を行うサポートサービスを受託

*ネット監視を威圧的なものではなく、安心安全なインターネット環境を実現するための見守りでありたいという思いから当社グループでは「看視」と表現しております。

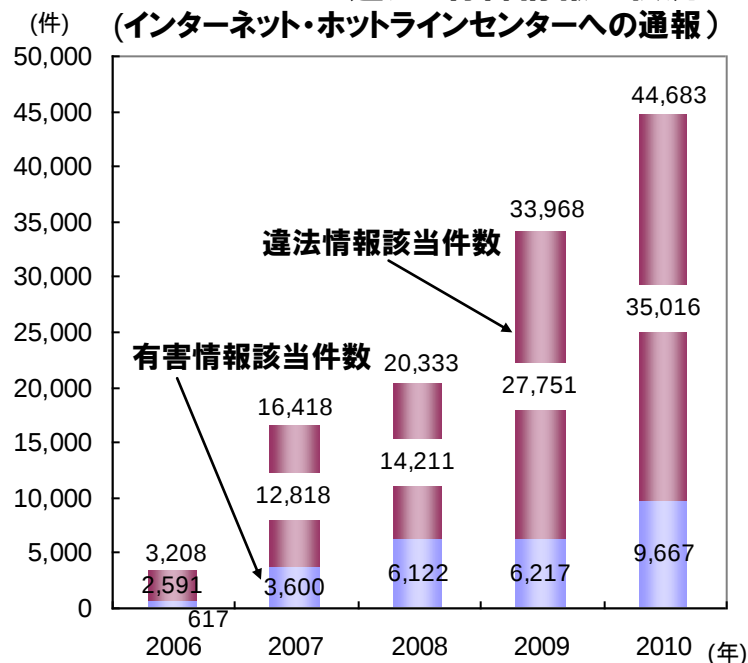


- 高まり続ける「ネット看視」の必要性
- モバイル(携帯・スマートフォン)の世界で
ネットビジネスが拡大
⇒ ユーザーサポートが成長のキー

ネット看視事業の事業環境(1)

■ 高まり続けるネット「看視」の必要性

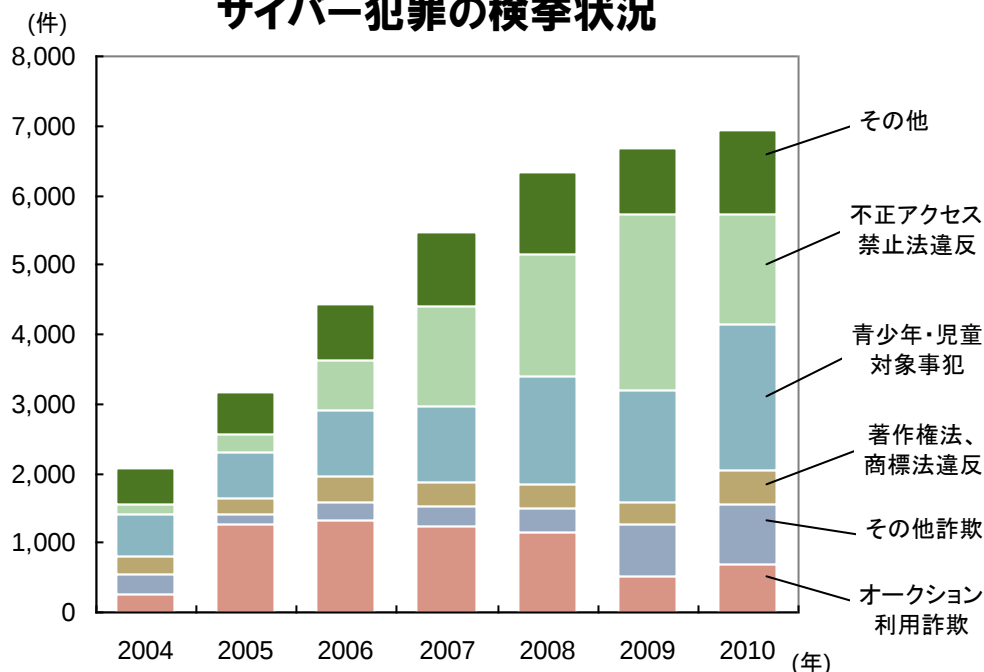
ネットにおける違法・有害情報の状況
(インターネット・ホットラインセンターへの通報)



(注) 運用が開始された2006年は6-12月の件数

(出所) 警察庁「インターネット・ホットラインセンターの運用状況について」

サイバー犯罪の検挙状況

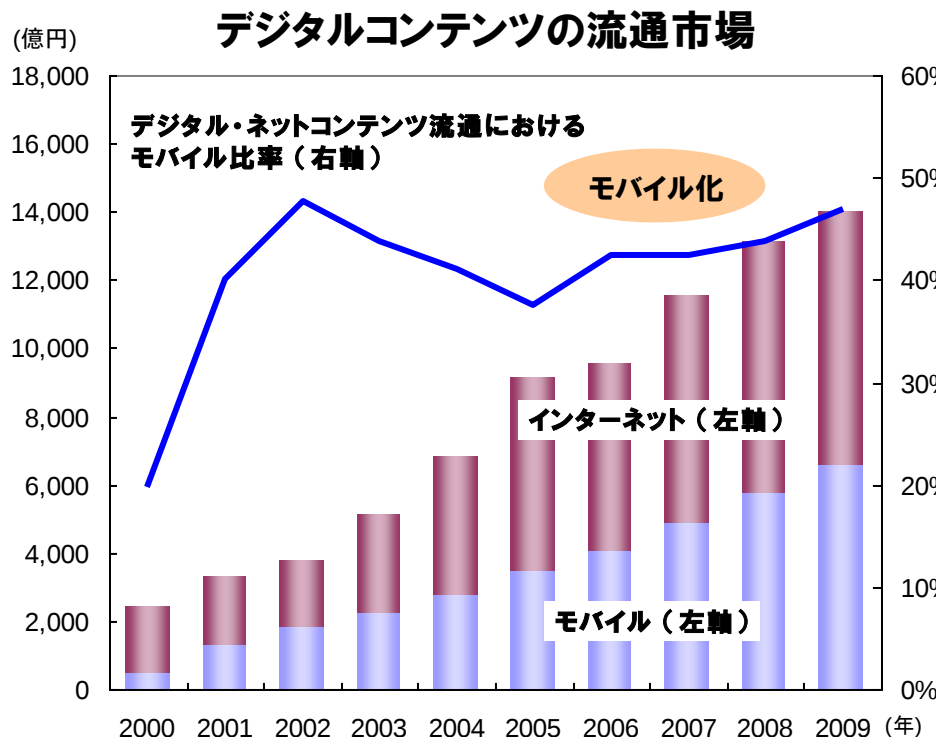


(注) 上記でサイバー犯罪は、①不正アクセス禁止法違反、②コンピュータ・電磁的記録対象犯罪(上記では「その他」に含まれる)、および③ネットワーク利用犯罪の合計。なおネットワーク利用犯罪の定義は、犯行の過程でネットワーク(インターネット)を利用した犯罪。「その他」は、②のほかに名誉毀損、脅迫、覚せい剤取締法違反等の薬事事犯など。

(出所) 警察庁「サイバー犯罪の検挙状況等について」

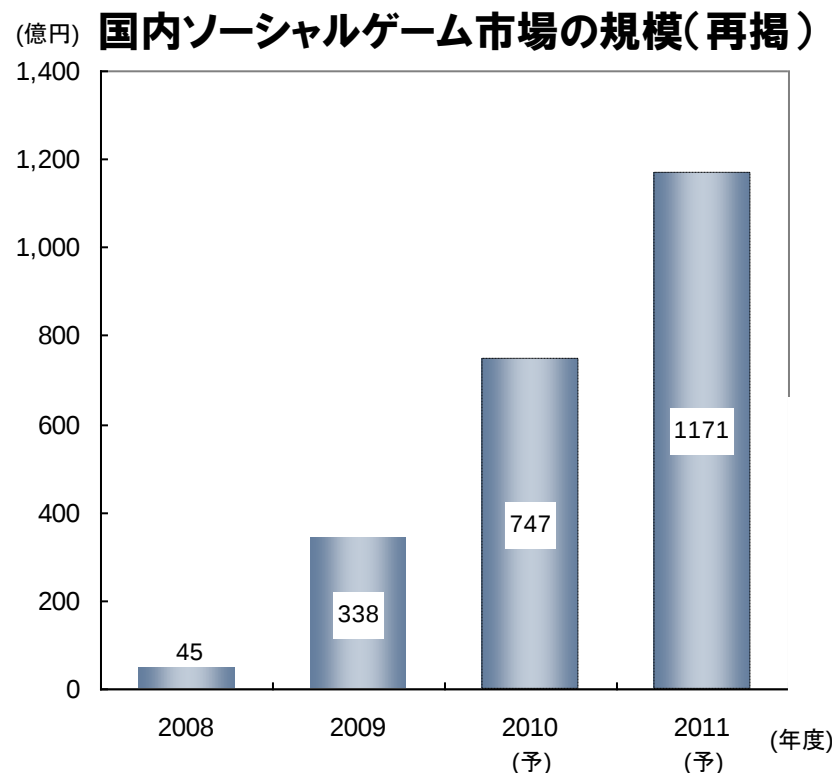
ネット看視事業の事業環境(2)

■ モバイル(携帯・スマホ)の世界で拡大するネットビジネス ⇒ ソーシャルアプリの運営等でユーザーサポートのニーズ急増



(注) 上記でコンテンツは、映像、音楽、ゲーム、図書・新聞・画像・テキストを指し、配信や広告の形態をとる。

(出所) 財団法人デジタルコンテンツ協会「デジタルコンテンツ白書2010」



(注) 日本国内のユーザーがソーシャルゲームの利用対価として支払った金額の合計。広告収入は含まず。予測は矢野経済研究所。

(出所) 矢野経済研究所

今後の事業戦略

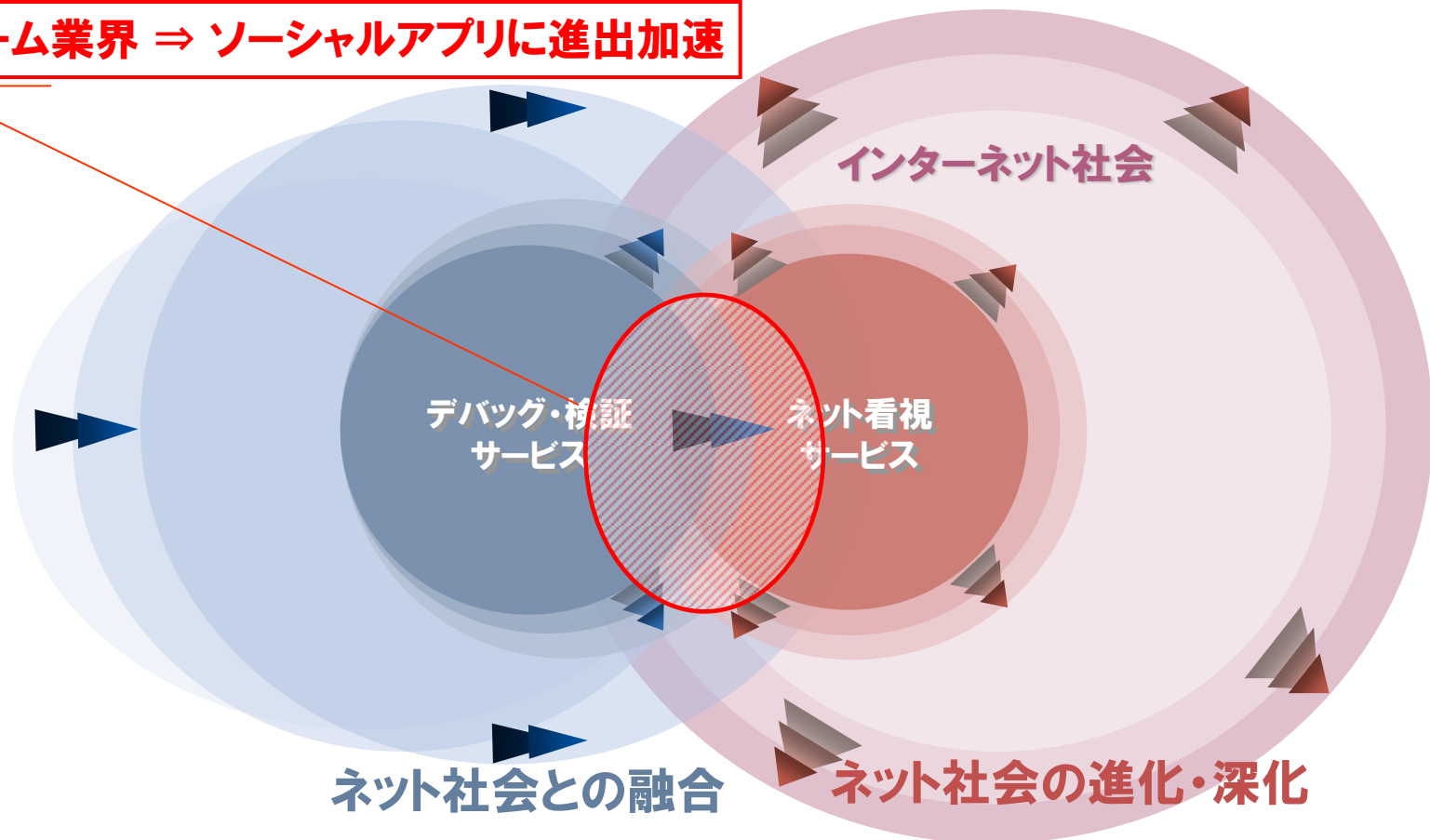
今後の事業戦略のポイント

- 1 各々の**市場**が**融合**し、**ソーシャルネット**の成長に合わせ**新しいビジネス**が生まれる
- 2 多様な形で成長するゲーム業界で**北米**及び**欧州市場**へ進出
- 3 新たなネットビジネスに「**システム**」と「**有人**」を組み合わせた**看視ニーズ**の高まり
- 4 人の力を最大限発揮する**総合ソリューション力**と**システム**の最大限の**活用**による**付加価値UP**

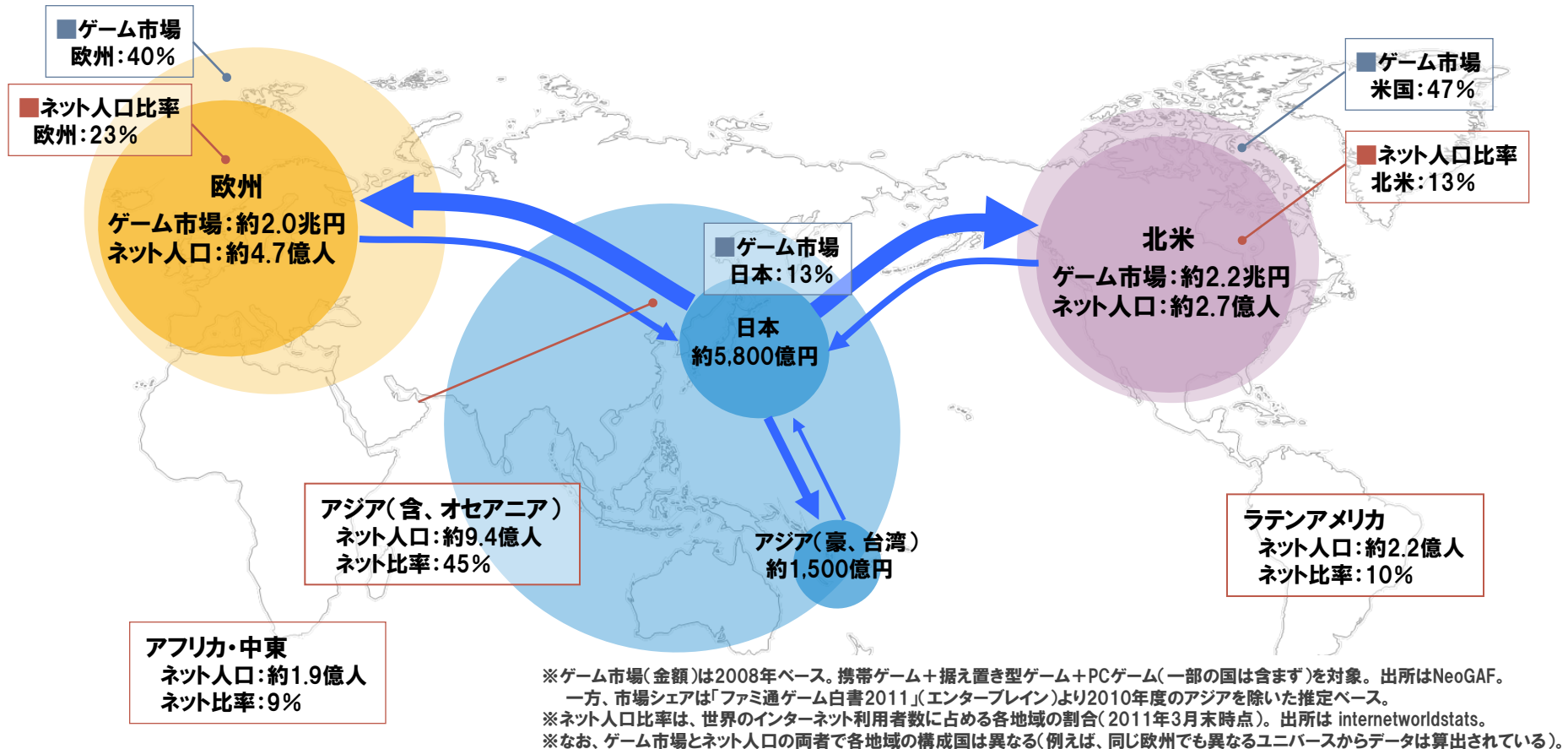
事業ドメインの融合

- 当社が強固な基盤を持つゲーム業界では、ユーザーサポートが重要なソーシャルゲームに進出…**シナジー効果発揮**の先駆事例
⇒ソーシャルネット市場を支える企業集団としての地位確立へ

ゲーム業界 ⇒ ソーシャルアプリに進出加速



市場のグローバル化に合わせた両事業の展開



デバッグ検証事業

日本のゲーム市場は世界の1割程度。
より大きな北米、欧州市場に展開を広げる

ネット看視事業

日本の大手ネット企業が北米進出。
将来的にアジア市場も魅力

システム看視ツールの活用

ノウハウのパッケージ化

■SEKISYO

ポートサイドが提供するインターネット不正検知プラットフォーム ⇒ **ネット系銀行**へ不正口座開設検知システム提供
⇒ 証券会社、損保との交渉開始

■こんぷらRobo

ポートサイドが提供する単語・文章NG判定プラットフォーム。

画像認識エンジン

高度高速な画像認識エンジンの開発、実用化へ。

テキスト認識エンジン

■COSMOSTAR

メタデータ社と提携し、ピットクルーがサービス提供しているソーシャルメディアの運用支援総合サービス。

「Interop Tokyo 2011」で
「Best of Show Award」

ベンチャー部門のグランプリを受賞。



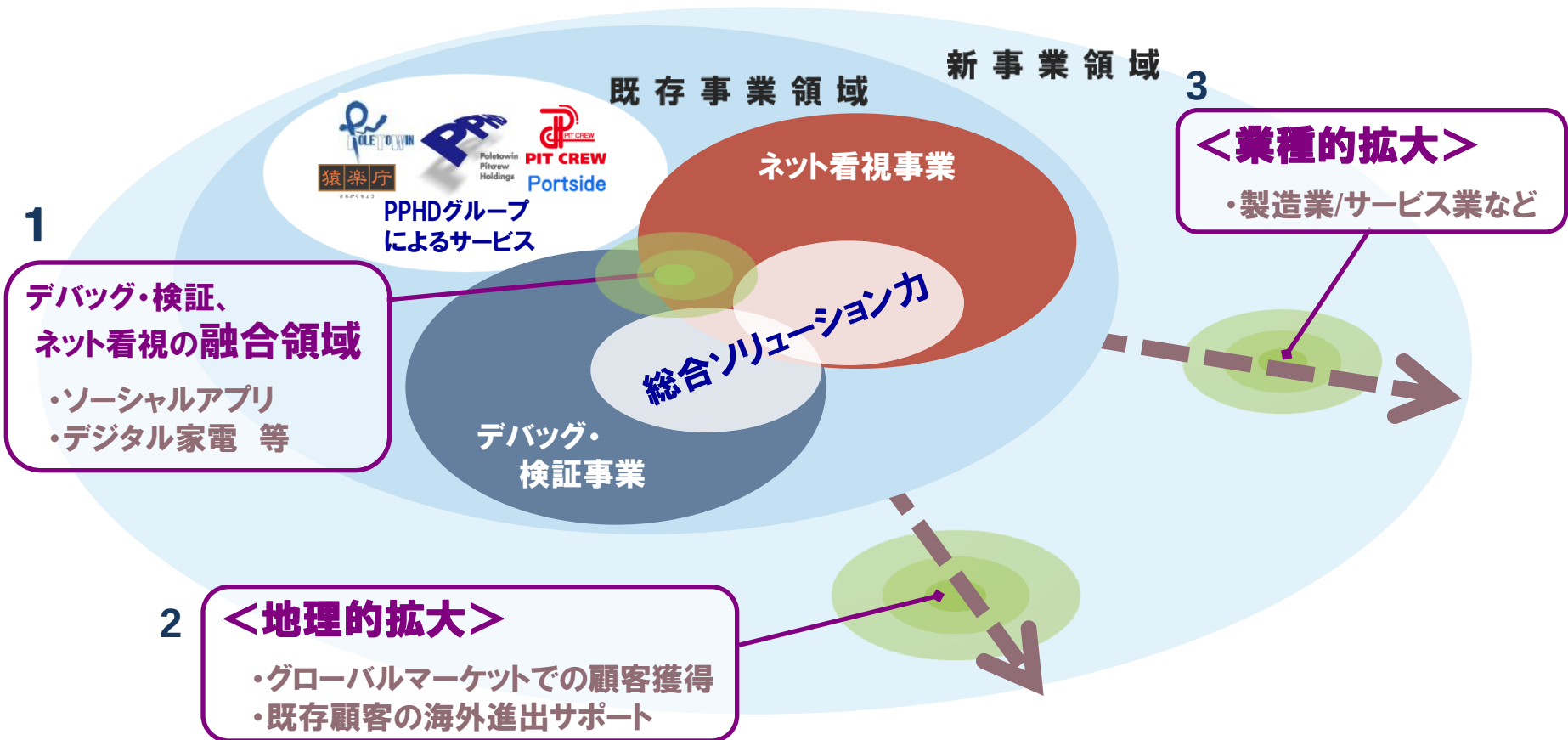
更なる効率的な看視の実現

同業他社ではできないシステム投資・
ソフトウェア投資に**成長資金を充当**

看視ノウハウを有するシステムの拡販

総合ソリューション力による事業領域拡大

1. ソーシャルネット市場における、事業間シナジー効果の発揮
2. 北米を中心としたグローバル展開
3. 人にしかできない分野への事業領域拡張



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。